教育委員会（ 4月 ）会議録（要点筆記）						
招集年月日	令和 6年 4月24日（水）					
招集の場所	白馬村役場 2階 庁議室					
開閉会の日時 及び宣言	開会	令和 6年 4月24日（水）午後 2時34分				
	閉会	令和 6年 4月24日（水）午後 3時26分				
出席委員	職名	氏名	職名	氏名	職名	氏名
	教育長	横川 秀明	教育長職務代理者	幅下 守	委員	松沢 亨
	委員	武田 弥生	委員	服部 知子		
事務局	教育次長	横川 辰彦	子育て支援課長	内山 明子	公民館長	太田 洋一
	教育係長	今井 志保				

会議の要旨

1 開会

[教育長]

開会を宣言した。

2 令和6年3月定例会の会議録について

[教育長]

異議なく承認された。

3 報告

○教育長報告

4月1日に南小の校長先生の辞令交付、2日にしろうま保育園、3日に白馬幼稚園、4日に小学校・中学校、5日に白馬高校の入学式に参列した。

10日の区長会は次長が代理出席した。芸術文化シリーズ実行委員会が18日にあった。

学校運営協議会を19日に北小、20日に中学、南小は5月8日に開催する。

26日に図書館等複合施設の方向性についての説明会を午後1時半と18時半から予定している。

○教育次長報告

新年度の給食が始まるにあたり、学校ごとにアレルギーの面談を行った。医師の診断を受けて、アレルギー食を管理している児童生徒は、南小が4人、北小が9人、中学校は4人。うち緊急時に備えてエピペンを所持している生徒は中学校で2名。給食ではアレルギー症状がよく出るナッツやそばは、あらかじめ使用しない。今回は、それ以外の食材の状況や代替について、保護者、教員、給食センターと情報共有した。

4月10日に給食調理員にノロウイルスの感染が確認された。11日は給食を停止して全職員の検査を実施した。検査によって感染が拡大していないことが確認されたので、12日から給食を再開した。センターでは体調の管理、危機管理意識を持つ、みんなでフォローするなど体制の確認を行った。

23日に北小3年生の男子児童2名から駅前写真が撮られたという通報があった。白馬交番、保護者等で現場を確認したが、特に事件性は確認できなかった。警察が下校時に巡回することになった。

○子育て支援課長報告

4月から園長、支援ルーム長が替わり、新しい体制でやっている。0歳児は、預かりの希望が多く、すぐ満杯になり、4月の時点で待機児童は出していないが、問い合わせに対して、入れる数が少ない状態。

4月17日に、BS よしもとののど自慢大会に村長が出てPRをする企画があり、しろうま保育園と白馬幼稚園

の年長が村長と一緒に歌う収録をした。5月頃にBSで放映される。

給食調理員を募集しているが、なかなか採用に至らない。ハローワークにも行ったが、白馬は特別な状況でインバウンドもあり、なかなか厳しいらしい。

○公民館長報告

生涯学習スポーツ課のスポーツ係関係で、白馬村スポーツ協会の総会を11日に開催し、事業や決算報告、本年度の事業計画、予算について承認をいただいた。

20日に第74回陸上自衛隊松本駐屯地記念式典が開催され、行政機関と村の自衛隊協力会の関係者が出席した。

生涯学習係と公民館の関係で、16日に第1回白馬村公民館運営審議会を開催し、6年度事業について説明した。

17日に白馬村子ども会育成会連絡協議会総会を開催して、前年度の事業と決算、本年度の事業と予算について承認をいただいた。

19日にウイング21芸術文化シリーズ実行委員会の総会を行った。

4 議事

○報告第2号 令和6年度白馬北小学校学級編制の変更について

[教育次長]新1年生のうち、南小に行く予定だった児童1名が3月28日に、家庭の職場の関係で北小に行きたいと申し出があり、それによって急きよ北小1年生は36名となり2クラス編成になった。担任は、県費の先生が間に合わないので、免許を持っている村費の先生に了解をいただき、担任をしていただくということで対応した。

○承認第5号 会計年度任用職員の任用について

[子育て支援課長]3月の名簿に漏れていた保育士で、しろうま保育園の代替と一時保育で、既に勤務している方である。

・全員賛成で承認された。

○承認第6号 フルタイム会計年度任用職員の給料に係る級及び号級決定に関する規則の一部改正に対する意見について

[子育て支援課長]放課後子ども教室コーディネーターと放課後子ども教室指導員の変更である。

この職種はボランティアでも無資格でもできるが、資格のある方には、もう少し上の号級から任用したく変更した。図書館の司書にならって、コーディネーターと指導員の有資格者については、保育士と同じ格付けから任用できるように変更した。

現在、コーディネーターも指導員も共に学校の教師だったり養護教諭だったり幅広い経験を持っている方なので、この変更によって持続可能な採用をしていきたい。

・全員賛成で承認された。

○承認第7号 通級指導教室への通級許可について

[子育て支援課長]それぞれ原級だったが、通級を使った方が望ましいと、保護者の了解も得られたので通級の許可をお願いしたい。

・全員賛成で承認された。

○承認第8号 白馬北小学校・白馬中学校の学校運営協議会委員の任命について

[教育次長]北小、中学校ともに既に第1回が終了している。校長先生にも意見を伺いながら決めた今年度の学校運営協議会の委員である。

北小は、新たに元教育委員に入っただき、元PTA会長とか前PTA会長とかPTA関係の方が多かったが、そこを減らして9名の委員である。

中学は、長野県教育委員会コミュニティスクールアドバイザーを入れ 11 名の委員である。

・全員賛成で承認された。

○承認第9号 白馬村いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱に対する意見について

[教育次長]役職で委員に委嘱されている方で、年度が替わり人事異動等によって替わった方についての変更である。児相、警察、PTA 連合会、学校長、村の子育て支援課の人事異動による名前の変更。

・全員賛成で承認された。

○承認第 10 号 学校薬剤師委嘱について

[教育次長]白馬中学で、薬剤師会から推薦をいただいた方に委嘱した。

・全員賛成で承認された。

○承認第 11 号 白馬村学校給食センター運営委員会委員の委嘱について

[教育次長]人事異動等によって替わる方で、南小の校長先生とそれぞれの PTA 会長について名簿を替えた。

・全員賛成で承認された。

○承認第 12 号 白馬村小中学校給食献立委員会委員の委嘱について

[教育次長]人事異動等により替わった方の名簿を変えるもの。替わったのは北小の教頭先生、PTA の関係の方、栄養教諭、主任調理員である。

・全員賛成で承認された。

○承認第 13 号 下学年への就学許可について

[教育次長]タイ国籍の生徒が白馬村に転入し、白馬中学校で、3学年の学齢だが、日本語について困難があるので、2学年で学びたいと申し出があった。文科省の通達により、下学年で受け入れるもの。4月1日から承認した。

・全員賛成で承認された。

○議案第 42 号 白馬南小学校の学校運営協議会委員の任命について

[教育次長]5月が第1回なので、議案として提出するもの。

・全員賛成で可決された。

○議案第 43 号 白馬村学校給食センター運営委員会への諮問について

[教育次長]学校給食センター条例第5条の2で、学校給食センター運営に関する意見、衛生に関する意見、食材調達に関する意見、こういったものを運営委員会で協議するので諮問したいもの。

・全員賛成で可決された。

○議案第 44 号 文化財指定に関する白馬村文化財審議委員会への諮問について

[公民館長]文化財審議委員会規則および運営に関する規則の第2条に基づき諮問したいもの。

白馬村文化財保護条例第8条に基づき、白馬村文化財審議委員会に諮問したいもので、種別は、白馬村指定天然記念物。名称は神城断層(塩島断層崖)。所在地は北城の3筆。村長が申請者になる。概要は、幅5m長さ44m、垂直変異が49cmから83cmの断層崖。申請理由は、糸魚川静岡構造活断層の一部である神城断層が、地震によって地表に出現した断層崖であって、地震の痕跡が観測できる地表は珍しく、人々が容易に訪れることができることから、防災教育での活用や地震の記録および記憶として留めるためにも保存していく必要がある。その他で、去年までの3年間で神城断層地震のアーカイブ看板を村内8ヶ所設置しているが、この場所にも1ヶ所設置してあり、震災の記録や変遷を写真や動画で見ることができる。

平成 27 年に、今回申請する場所の道を挟んで南側に、神城断層の文化財指定をした。その土地は、民有地だった。その所有者の方が使いたいという理由で令和3年3月に一旦解除した。令和5年度、こちらの土地については、元々民有地だったものを村が購入して、村の土地になったことから、神城断層の断層崖として、改めて指定したいもの。

[教育長]この断層は、雨風とともに畔がだんだん緩くなっているが、自然現象でやむを得ない。掘ると断層がはっきりわかるので、そのためにもぜひ保存したい。子どもたちのために、この断層崖はぜひ残したい。村が取得できたので、指定解除したものを、改めて指定したいもの。また利活用については、公民館長を中心に村巡り等で活用したい。

・全員賛成で可決された。

○議案第 45 号 白馬村家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正に対する意見について

[子育て支援課長]法の改正に基づき、村も合わせて改正するもの。家庭的保育事業の定員で3歳以上4歳未満は、今まで保育士が児童 20 人に対して1人を、15 人に対して1人に変更。4歳以上児については 30 人につき1人が 25 人につき1人になる。

令和6年4月1日から施行するが、経過措置として、保育士および保育従事者の配置の状況に鑑み、保育の提供に支障を及ぼすおそれがあるときは、当分の間、この条例による改正後の規定は適用しないし、この経過措置はいつまでという期限もない。

[教育長]国の改正に伴って、クラスの人数を少なくして行きたいが、保育士不足が顕著で、すぐの対応は難しい。他市町村の教育委員会でも同様な悩みを抱えている。今後、この人数に合うような形で対応していかなければならないことは聞いている。白馬幼稚園も同様。

[委員]もとは法律ではないのか？

[子育て支援課長]上に国の法律があり、それに合わせたもの。今は、未満児を2歳児は保育士1人に対して園児6人になっているが、こちらが改正されると、先生2人で子どもを 12 人見ていたのが 10 人になるので、対応が厳しくなる。手厚く見ると言われているが、結局先生の数に合わせて子どもの数を決めざるを得ないので、今回は違うが、かなり影響は大きくなる。

[委員]これだけ親が子どもを保育園に預けるということは、逆に労働力がどこかにあるはず。条件や金銭面で合わないのか、もしくは知らないのか。絆メールで流したり、あらゆる手を尽くして求人広報をかけては、どうか。

[教育長]白馬村のホームページで募集している。

[子育て支援課長]絆メールは、採用担当課から許可が出なかった。

[教育長]短大生が保育士の資格を得るが、各短大に聞くと、定員の7割しか生徒が集まらない状態。卒業しても保育士になるのは、そのうちのまた7割。幼児教育科を出て、保育士になるのは、7割の7割で定員の5割程度しかいない状況のようだ。二つの短大に求人に行ったが、白馬から来ている子も少ないし、たまたま白馬高を卒業して行っている子がいたが、小谷の子で、小谷の保育園に就職したいと言っていた。都市部に就職したい子もいるようだ。

・全員賛成で可決された。

○議案第 46 号 白馬村教育振興基本計画について

・教育次長が、前回出た意見を元に修正した箇所について説明した。議決後に月末の課長会議で全庁的に報告して、ホームページや各学校に周知し、対話の機会も設けたいと説明した。

・全員賛成で可決された。

5 その他

・図書館等複合施設整備方針の住民説明会について

[公民館長]この施設に関する説明会を 4 月 26 日、1時半と6時半の2回、ふれあいセンター2階学習室で行う。子育て施設を優先して行うという方針を課長と村長が説明する。

- ・令和6年度公民館・社会教育事業の計画について
- ・公民館長が今年度の新規事業を中心に資料に沿って説明した。

- ・小谷村教育長の異動報告書について
- ・教育次長が資料に沿って説明した。

- ・第8回信州学び円卓会議県民意見交換会について

[教育長]5月 13 日に岩岳マウンテンリゾートの山頂スカイアークで、阿部知事と地域の代表と教育関係者が意見交換する会を開催する。参加希望があったら申し込んでほしい。

- ・5月の日程について

[教育次長]資料により説明。

次回定例会日程案

令和6年5月 23 日(木)午後1時半から。

署 名 欄	
教 育 長	
教 育 長 職 務 代 理 者	
委 員	
委 員	
委 員	